1.技　　術	4.2　海外からの技術者招聘・研修
2.事　業　名	4.2.18　造水技術に関する海外技術者研修
3.キーワード	造水技術、研修事業、中東
4.目　　的	本研修事業は、今までの経験を基に、主に日本の排水処理・再利用の技術、淡水化技術紹介を中心とし実施するものである。
5.内容、成果	平成 28 年度は、近年、工業発展がめざましく、同時に各種環境問題を抱えている東南アジア諸国及び中東産油国、東ヨーロッパ諸国等を対象とした。 研修生はセルビア(2 名)、ラオス、イラン、イラクの 5 名であった。研修では 10 講義のほか、上水・下水施設及び海水淡水化関連施設など 4 か所を視察した。研修期間は、平成 28 年 9 月 5 日(月)～9 月 17 日(土)(13 日間)に実施し、報告書を作成して本事業は終了した。 研修生の所属部署は以下の通り。 イラク：石油省　石油研究開発センター(PRDC) 水処理、環境および腐食対策部チーフ (Chemists Chief Assistant, Water Treatment, Environment and Corrosion Dep., PRDC) セルビア：(A) ブラバス市職員 公益事業建設部　専門家 (Indipendent Expert, Department for Utilities and Construction Works, Municipal Administration, Vrbas) ：(B) 農業環境保全省　プロジェクト管理部門長 (Head, Department for Project Management, Ministry of Agriculture and Environmental Protection) イラン：国立　水・排水技術公社(テヘラン) (Expert, Supervising on the operation Assistance, national water and wastewater Eng.co., Tehran) ラオス：内務・運輸省　都市開発事業部　職員 (Urban Environmental Management and Community Development, Ministry of Public Work and Transport)
6.参　　照	本財団の自主事業